



# 大地

<http://ashishou.sun.bindcloud.jp/index.html>

259号

令和8(2026)年

2

足寄町立足寄学校だより

## 「忘れ物」という小さな失敗が育む、大きな「生きる力」

足寄町立足寄小学校長 池田 圭子

ある朝のことです。「子どもが、先生に言われた言葉が怖くて、学校に行きたくないと泣いているんです。」と、とても心配な相談がありました。

お話を伺うと、リコーダーを忘れた際に担任がかけた「次は忘れないように持ってこようね」という言葉が、その子どもの心には、鋭く、怖い響きとして届いてしまったようでした。保護者の方は「親が届ければ済むことなのに、そんな言い方をしなくても……」と、胸を痛めていらっしやいました。

この出来事は、私たち大人にとっても「言葉」と「心」の関わりを見つめ直す、とても大切な問いかけを投げかけてくれました。私はこのお話を聞いた後、静かな校長室で、教育について、そして「子どもの幸せ」について、改めて深く深く考えました。

### 同じ言葉でも、届き方は「心の天気」で変わる



言葉には、語り手が込めた「意図」とは別に、聞き手が受け取る「音色」があります。

大人としては、「次は大丈夫だよ」という励ましのつもりで言った言葉であっても、その時の子どもの「心の受け皿」が、失敗への不安でいっぱいだったとしたら、それは「叱られた」という強い衝撃に変わってしまうことがあります。自分の失敗を重く受け止め、大人の何気ない一言を「否定された」と感じてしまうこともあるのです。受け取り方は子どもの性格やその時の心の状態によって千差万別です。教師も、より一人ひとりの心に響く言葉選びを、これまで以上に丁寧に行っていかなければならないと、身の引き締まる思いです。

単に「正しいこと」を伝えるだけでなく、その言葉が子どもの心にどんな「音色」で響いているか、もっともって丁寧に耳を澄ませていかなければならないと、改めて感じております。

### 「忘れ物」を通した、大人たちの関わりとその未来



子どもが忘れ物をしたとき、私たち大人が取れる行動にはいくつかの形があります。それぞれの関わり方が、数年後、十数年後のお子さんの姿にどうつながっていくのか、皆様と一緒に考えてみたいと思います。

対処法の例	子どもの様子	将来の姿（自立への影響）
大人がすぐに助ける (保護者が届ける、先生が肩代わりする)	「困ったときは大人が何とかしてくれる」と安心します。困ることがなく、その場は笑顔で解決します。	「困ったら誰かが何とかしてくれる」という依存心が育ち、自分で解決策を探す力が弱まる可能性があります。
厳しく叱責する (強く問い詰める)	恐怖心から「忘れない」ようになりますが、失敗を隠すようになり、萎縮して挑戦を避けたりするようになります。	失敗を極度に恐れ、他人の評価ばかりを気にする「指示待ち」の大人になってしまう懸念があります。
失敗を経験として見守る(忘れ物をして困る経験をさせ、次はどうか一緒に考える)	その時は恥ずかしかったり、不便だったりして落ち込みます。しかし、「どうすればよかったか」を自分で考え始めます。「失敗したけれど、見捨てられていない」という安心感の中で、解決策を考えます。	「失敗してもやり直せる」というしなやかな強さ、自分の失敗を認める潔さと、そこから立ち直る力(レジリエンス)が育ち、自分の行動に責任を持てる自立した大人へと成長します。

## 失敗は「最高の教材」



保護者の方が「届けなかった」とおっしゃったお気持ち、本当によく分かります。大切なわが子が困っている姿を見たくない、悲しい思いをさせたくない.....それは親として当然の、深く尊い愛情です。その優しさは、子どもの心の安全基地として何より大切なものです。

だからこそ、学校と家庭で、もう一步先の「愛情の形」を共有できればと願っています。それは、「失敗という名の小さな階段を、自分の足で昇るのを見守る」という愛情です。学校という場所は、勉強を教えるだけの場所ではありません。「小さな失敗を、安全に経験させてあげる場所」でもあります。

リコーダーがなくて困る。友達に借りる勇気を出す。あるいは、先生に「忘れました」と正直に言う。その小さな心の揺れこそが、社会に出たときに必要な「調整力」や「解決力」を育てます。

もし子どもが忘れ物をして、先生の言葉に傷ついて帰ってきたら、どうかまずは「悲しかったね」と抱きしめてあげてください。その上で、少し心が落ち着いたら、こう声をかけてみてはいかがでしょうか。

## 「手出し」ではなく「見守り」の連携を



忘れ物をしたとき、子どもたちは今、人生の「練習」をしています。

どうか保護者の皆様、子どもが忘れ物をしたときは、慌てて解決してあげる前に、一呼吸置いてこう声をかけてあげてください。

「先生は、あなたが次はできるって信じてるから、そう言ってくれたんだと思うよ。お母さんと一緒に、明日の準備の『魔法の合言葉』を考えてみようか」

「困っちゃったね。じゃあ、明日はどうすれば忘れずに済むかな？一緒に作戦を立てようか」

大人が言葉の「裏側」にある温かな意図を翻訳してあげることで、お子さんの「心の受け皿」は少しずつ強く、しなやかになっていきます。

学校と家庭が手を取り合う形は、決して「ミスをゼロにすること」だけではないはずで、「失敗してしまった後、どう立ち上がるか」を一緒に温かく見守ること。それこそが、真の連携ではないでしょうか。

## 共に創りましょう



学校は、完璧な子どもを求める場所ではありません。子どもたちが失敗し、ときには困りながらも、「大丈夫だよ」と声を掛け合い、その経験から学び、成長していく場所です。

失敗は決して後ろ向きなものではなく、次へ進むための大切な一歩であると考えています。

毎朝、登校してくる子どもたち一人一人を、私たちは笑顔で迎えたいと思っています。

「待っていたよ。大丈夫、また一緒に始めよう。」

その思いを胸に、安心して過ごせる居場所づくりに努めてまいります。

子どもたちが「失敗しても大丈夫なんだ」「ここなら挑戦できる」と胸を張って言える学校でありたい。そのためには、学校だけでなく、保護者の皆様、地域の皆様のお力が欠かせません。

これからも、子どもたちが安心して「失敗し、学び、成長できる」温かな学校を、皆様とともに創り上げていきたいと願っております。引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 安心して学校生活を送るために（感染症対応について）



2月中旬にインフルエンザの流行が見られ、複数の学級において欠席者が増加したことから、やむを得ず学級・学年閉鎖の措置を講じました。また、今年度11月には、インフルエンザA型が急激に拡大し、全校的な感染状況を踏まえて学校閉鎖を実施いたしました。

本校では、日頃より手洗い・うがいの励行、教室の換気、健康観察の徹底等、感染症対策に継続的に取り組んでおります。

しかしながら、感染の広がりを抑え、子どもたちの健康と安全を最優先に守るためには、一定期間の閉鎖措置が必要であると判断いたしました。

保護者の皆様には、急なご連絡にもかかわらず、お迎えやご家庭でのお子様の見守り・健康管理等にご協力をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。また、地域の皆様におかれましても、本校の対応にご理解を賜り、誠にありがとうございました。

今後も、状況に応じて迅速かつ適切な対応に努めてまいります。引き続き、朝の健康観察や体調不良時の早めの受診・休養など、ご家庭でのご協力をお願いいたします。学校と家庭、地域が連携しながら、子どもたちが安心して学べる環境づくりを進めてまいります。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。



友だちと一緒に学ぶ楽しさを実感する瞬間



## 不審者対応訓練

本校では、万が一不審者が出現した場合や校内に侵入した場合に備え、児童が安全に行動できるよう不審者対応訓練を実施いたしました。

今回は、警察署の方を講師としてお招きし、具体的な対応方法についてご指導いただくとともに、実技訓練も行いました。子供たちは真剣な態度で話を聞き、自分の身を守るための大切なポイントを学びました。

実技訓練では、危険を周囲に知らせるために大きな声で助けを呼ぶ練習を行いました。子供たちは「助けて!」と力いっぱい声を出し、いざという時に行動できるよう取り組んでいました。また、逃げることの大切さを学ぶため、追いかける場面を想定した訓練も行い、安全に距離を取る方法について体験的に学びました。

今後も、繰り返し訓練を重ねることで、子供たちが落ち着いて行動し、自分の身を守る力を身に付けられるよう努めてまいります。

保護者・地域の皆様におかれましても、日頃より本校の安全教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。引き続き、子供たちの安全確保に向けて、地域全体で見守っていただきますようお願いいたします。



学校の情報は  
ホームページから  
も確認できます

各学級の時間割をはじめ、毎日の給食等を足寄小学校のホームページから確認することができます。

ぜひ、ご覧になってみてください。

<http://ashishou.sun.bindcloud.jp/index.html>



## コミュニケーション方法の変更について ~デジタル連絡帳の運用~

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて本校では、保護者の皆様がこれまで以上に安心して、いつでも学校へご相談いただける環境づくりを進めております。その一環として、これまでノート形式で行ってまいりました「連絡帳」を、専用の「相談・連絡フォーム（Googleフォーム）」へ移行することといたしました。

### デジタル化による3つの安心

- (1) プライバシーの保護  
お子様が持ち歩くノートとは異なり、送信内容は直接、担任および管理職へ届きます。情報の行き違いや紛失の心配もなく、安心してご利用いただけます。
- (2) 時間を選ばず利用可能  
夜間や早朝など、保護者の皆様のご都合のよい時間にご入力いただけます。思い立ったときにすぐお伝えいただける環境を整えました。
- (3) より丁寧な対応  
教員が授業の合間に確認するのではなく、放課後などに落ち着いて内容を拝読し、必要に応じてお電話や面談等、最適な方法で丁寧に対応いたします。

### ご利用にあたって

お子様の学習や生活に関するご不安、ご相談、ご要望など、これまでと同様にどうぞお気軽にお寄せください。

なお、直接お話しされたい場合は、従来通りお電話でのご連絡・日程調整も可能です。本フォームは令和8年3月より、学年ごとに試験運用を開始いたします。

新しい形で、より深い連携を築いてまいりたいと存じます。何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 3月の行事予定

		16日(月)	足寄高校カナダ研修報告会
2日(月)	挨拶いっぱい運動	17日(火)	卒業式総練習
	交通安全の日	18日(水)	移動図書
	町内児童会生徒会交流会	20日(金)	春分の日
6日(金)	読み聞かせ	23日(月)	離任式
11日(水)	卒業式全体練習		大掃除
13日(金)	卒業式全体練習	24日(火)	第26回卒業式・修了式
		25日(水)	職員会議

